

2025年12月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 12月えんだより

12月聖句：「神は我々と共におられる。」

<マタイによる福音書1章23節>

去る11月23日に開催された第27回神戸YMCAチャリティーランには、保育園からもさまざまな形でご参加いただきました。秋晴れの中、「誰かのために走る」ことを先生チームも楽しみながら、チャリティーの思いを分かち合う機会となりました。ご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。来年もまた共に楽しむことが出来ればと思います。

さて、12月に入り、保育園ではクリスマスのお祝いに向けて準備が進んでいます。今年もお家の方々をお招きし、礼拝を行います。特にゆり組の子どもたちは、聖誕劇を通してイエス様のご降誕のストーリー・その意味を伝えるメッセンジャーとなります。

劇には、羊飼、マリアとヨセフ、宿屋の主人、天使、星、そして東方の博士たちなど、さまざまな役があります。どの役にも意味があり、欠かすことのできない存在です。聖誕劇は、神の御子イエス様を私たちのためにお与えくださった、神さまの大きな愛を知る機会です。

憧れていた役を演じる子どもたちも、いざとなると緊張したり、うまくできないこともあります。でも、どんなに小さな声でも、うまく言えなくても構いません。それぞれがメッセンジャーとして場面を作り出し、2000年前の出来事を今年も伝えていく大切な役割を担っているのです。

今月の聖句「インマヌエル＝神は我々と共におられる」は、天使がヨセフに告げた言葉です。ヨセフは婚約者マリアが身ごもったことを知り、深く悩みます。マリアは聖霊によって身ごもったのですが、ヨセフは他の人の子だと思い、彼女を訴えず静かに離縁しようと決意します。その時、夢に天使が現れ、こう告げます。

「恐れずマリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのです。マリアは男の子を産みます。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからです。」

聖書でいう罪とは、神さまから離れること、逆に、神さまが共にいてくださることは救いを意味します。

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛して、私たちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。」（ヨハネの手紙 第一 4章10節）とあります。私たちが神さまを愛したからではなく、神さまが私たちを愛してくださっています。私たち人間の愛には限界があります。愛することのできないこの私をも愛してくださるのが神さまの愛です。そしてさらに私たちが神と共にいるのではなく、「神は我々と共におられる」のです。

クリスマスは、神さまが私たちの罪を背負い、共に苦しみ、共に歩んでくださるためにイエス様を贈ってくださった、その大きな愛を知り、私たち自身も、誰かと共に生きることでクリスマスの恵みを分かち合うことに気づく日々として過ごしたいと思います。

神さまの愛と恵みと祝福が皆さまの上に豊かにありますように。メリークリスマス！

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書43章5節）

12月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	わくわくするね	よろこびいっぱい／知らせよう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスの雰囲気を感じてわくわくする ・絵本を見てうたを歌って楽しく過ごし、気持ちが満たされる ・外気に触れ、冬の訪れを感じる ・クリスマスの雰囲気を全身で感じ、わくわくしながらイエスさまのお誕生を祝う ・友だちや保育者といろいろな形で喜びを表現する ・風や空気の冷たさ、日の入りの早さなど変化を感じ、冬の訪れを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスさまのお誕生の話を聞き、イエスさまが私たちのためにお生まれになったことを知り喜ぶ ・4、5歳児の姿に憧れたり真似をしながら、賛美したり体をつかってクリスマスの喜びを表現する ・寒くなってくる季節の中でも戸外で遊びを楽しみ、続けてきた遊びも大切にする ・本当のクリスマスを知り、家族や友だち、クリスマスを初めて迎える小さい組の子どもたちに、その喜びを知らせようとする ・誰かのために祈ること、またプレゼントをもらうことだけでなく、心を込めて準備し贈ることの嬉しさを経験する ・うたや踊りや劇、飾り作り、アドベントカレンダー…様々なことを通してクリスマスとともに待つことを楽しむ
讃美歌	おほしがひかる	幼児こども改74 ・ きよしこのよる